

動物の診察室から

○ 23 ○

一月のある夜、病院のプザーが鳴り玄関へ出てみると、一人の男性が申し訳なきように「家の犬が逃げてしまったので、これを病院で掲示してもらえませんか」とワンちゃんの写真付きポスターを差し出し、見かけたら電話をくださいと言って帰っていかれました。

メでした」「スーパーの前で、車にはねられて、そのまま走っていきまし

た」「新潟バイパスを走っているのを見ました」などの情報を寄せられました。

それらの情報をたどっていくと、逃げてから三日は自宅近辺にいて車にひかれたらしい、バイ



術後の検診に来た海ちゃん

10日間の冒険

けがしりつりつもわが家へ

ポスターには、まだ若い黒いシバイヌが写っていました。

飼い主さんは新潟市中央区に住んでいて、あちこちにポスターを配ったらしく、コンビニや、スーパーにも掲示されていて、数日の間に何件かの目撃情報が寄せられました。

私の病院の患者さんも、「黒いシバイヌを見つけた、追跡したけれどダ

パスを西に向かっていたので、同市西区に入ったらしいと飼い主さんは考えました。そして、西区の交番にもポスターを張ってもらえるよう頼みに行かれたそうです。

シバイヌの名前は、海ちゃん（カイ）ちゃん、九カ月のおス犬です。性格はど

とても良く、「チャカチヤカしたかわいい子」という感じです。

逃げてすぐは、外は寒しかったのでしょうか、いろいろな人が捕まえようとしても、するりと逃げてしまいました。でも、車にひかれて、だんだんとおなかもすいてきてい

たのでしよう。

逃げてから十日目に、西区の方が海ちゃんを見つけた、食事をあげて保護された。

さされました。そして近くの交番に尋ねたところ、ポスターの黒いシバイヌだったため、すぐに飼い主さんに連絡が行きました。こうして海ちゃんの十日間の冒険は終わりました。

海ちゃんは保護された時、右後肢を引きずって

に、逃げてしまった迷子の犬です。今回は飼い主さんの努力で無事戻ることができましたが、前のコラムにも書いた通り、マイクロチップを入れてあげれば、簡単に飼い主さんを特定することができま

す。飼い主さん、ペット双方の安心のために、あらためてチップ活用をお薦めします。

草村 正人 (獣医師・新潟市)